

「メディア基礎Ⅰ」の授業評価報告書

数学教育講座・河村泰之

1. 本授業の目的と概要

本授業は、総合人間形成課程情報教育コースの選択必修科目である。目的は近年の情報化社会におけるメディアに関する基礎的な技術・知識を身につけることである。また、高等学校教員一種免許（情報）の教科に関する科目の中で必修科目として位置付けられている。免許法施行規則に定める科目区分等は「マルチメディア表現及び技術（実習を含む）」である。広くメディアについて考えて倫理やモラルについて考える活動と、技術的な知識について講義を行った。特に教科書は指定せず、倫理に関する内容を扱うときには時事問題を取り上げディスカッションの時間を設けた。技術的な内容を扱うときは他教科の内容を意識しつつ、情報処理技術者試験の問題などを交え、基本的なところを説明した。

2. 受講者

本授業は、カリキュラム上は情報教育コース2年次後学期に履修すると自然な流れで学習できるように設定されている。履修登録を行っている者は13名で、その内11名が標準的な対象者である。残る2名の内、1名は4年次の学生で体調が悪くこれまでに単位を修得できなかったため再履修の登録をした（今年度も体調を崩し授業に一度もくることができなかった）者で、もう1人は卒業生で他教科の現職の高校教員であった。教科「情報」の教員免許を取得するため、科目等履修生として受講した。私にとって、授業内に現職の教員がいる経験は珍しかったため、良い経験となった。教員免許取得のための必修科目で

あるため、教員養成を意識した内容を取り扱っていたが、現職教員が受講していたため課題を予定していた内容から変更することもあった。そのため、授業としては少し一貫性を欠いてしまったのは反省しなければならない。

3. 成績の評価方法

本授業の内容は旧カリキュラムの「マルチメディア概論（J）」の後継科目の意味合いもあるが、基本的には初めて開講される科目である。そのため、授業の進め方は幾分か手探り状態の部分もあった。半年で5回のレポート提出を求め、さらに試験を行い評価した。

5回のレポート課題の内、2回はほとんど差がつけられないような内容のレポートばかり提出された（しかし、コピーなどではない）。課題設定をもう少し練る必要がある。差がつかなかった内の1つは、ディスカッションの後、その内容をさらに深めてレポートする課題であった。ディスカッションで出た意見や情報でレポートが構成され、内容を深めたものがあまりなかった。課題が抽象的過ぎたためかもしれない。

行った試験に関しては、得点の高かった者の解答から、よく復習したことが見てとれた。試験は適切な難易度で行うことができたと感じる。

履修者13名の最終的な評価は次の通りである。

秀1人、優4人、良7人、評価しない1人
不真面目な学生もいなかったため、全体的に良い雰囲気での授業を進められたという感想を持っている。

4. 授業の評価

授業の評価のため、第13回目の授業で無記名のアンケート調査を行った。回答数は12。体調を崩して授業に現れなかった学生以外の全員から回答を得た。調査項目は次の18項目で選択形式で回答してもらった。選択肢はほとんどの項目で、「①強くそう思う、②まあそう思う、③あまりそう思わない、④全くそう思わない」の4段階であるが、そうではないものは記載する。

【目的・目標の理解】この授業の目的・目標を理解できた。

①1人、②11人、③0人、④0人

【進捗・時間配分】授業の進捗および毎回の授業における時間配分は適切だった。

①2人、②9人、③1人、④0人

【シラバス通りの授業】授業はシラバスに即して行われた。

①1人、②11人、③0人、④0人

【レベル】授業のレベルは適切でしたか。

①難しすぎた1人、②やや難しかった6人、③ちょうどよい5人、④やや簡単だった0人、⑤簡単すぎた0人

【わかりやすさ】教員の説明の仕方は分かりやすかった。

①1人、②10人、③1人、④0人

【コミュニケーション】授業内容への質問・発言の機会が適切に与えられ、教員はそれにきちんと対応していた。

①4人、②8人、③0人、④0人

【教員の意欲・熱意】教員の授業に対する意欲・熱意を感じた。

①0人、②11人、③0人、④0人

(無記入1人)

【視聴覚教材】黒板、メディア(パソコン、ビデオ、OHP、CD等の音声教材等)の使い方は効果的だった。

①0人、②11人、③1人、④0人

【教科書・プリント】教科書、プリント等の使

い方は効果的だった。

①1人、②7人、③1人、④1人

(無記入2人)

【シラバス】この授業の受講に際し、シラバスを読んだ。

①丹念に読んだ1人、②一通り目を通した6人、③部分的にしか読んでいない5人、④全く読んでいない0人

【出席状況】この授業への出席状況はどのくらいでしたか。

①全部出席5人、②1-2回欠席7人、

③3-4回欠席0人、④5回以上欠席0人

【学習態度】質問をするなどして授業に積極的に取り組んだ。

①0人、②9人、③2人、④1人

【授業時間外学習】この授業に関連して授業時間以外の学習・作業時間は、1回の授業毎にどのくらいしましたか。

①2時間以上0人、②1-2時間1人、

③30分~1時間8人、④30分未満3人

【改善度】教員は、学生の意見を取り入れるなどして授業を改善するよう努力していた。

①0人、②12人、③0人、④0人

【目的・目標度達成】この授業の目的・目標は達成された。

①1人、②10人、③1人、④0人

【満足度】この授業は全体として満足のいくものだった。

①1人、②10人、③1人、④0人

【関心・興味】この授業で取り上げられた事柄について、関心・興味がわいた。

①3人、②6人、③3人、④0人

【討論・GW】討論やグループワークを活発に行った。

①3人、②8人、③1人、④0人

5. まとめ

全般的に良い評価を得ているが、授業の一貫性と時間外学習の観点から与える課題をよく考える必要があると考えられる。